## 安全を基盤にした総合生活サービス企業へ

### 東日本旅客鉄道株式会社

取締役社長　住田正二

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係者の皆様におかれましては、平素からJR東日本を御愛顧賜り誠にありがとうございます。

私どもJR東日本は、昭和六十二年発足以来、お客様を始め皆様の温かい御支援、意欲ある社員の懸命の努力、そして好景気を背景にした良好な経営環境に恵まれ、所期の計画を上回る業績を挙げることができました。本年は、新たな展開の年と心を引き締め、長期的視野に立った経営見通しのもと、経済環境を見極めながら鉄道事業を基幹とした様々な事業展開を図りたいと考えております。鉄道事業においては、安全を至上の課題とし、より安全性の高い鉄道システムの実現を目指します。関連事業においては、経営体質の強化に資する各種の事業を積極的に推進し、企業のグループの結束力を高めてまいります。また、開発事業におきましては、駅ビルの建設、高架下の開発を更に進めるとともに、昨年十二月に完成したガーラ湯沢スキー場のようなリゾート開発や不動産事業の展開に向けての基盤作り等々、「鉄道を軸とした総合生活サービス企業」の実現に向けてまい進してまいりたいと考えております。

本年も、お客様や地域の皆様のお役に立つよう全社員が心を一つにして努力する所存でございますので、一層の御愛顧と御支援を賜りますようお願い申しあげます。

皆様のますますの御健勝、御多幸をお祈り申しあげて年頭のごあいさつとさせていただきます。

## 東海道新幹線で快適な修学旅行を

### 東海旅客鉄道株式会社

取締役社長　須田寛

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係の皆様には、平素から格別の御愛顧と御支援を賜り厚くお礼申しあげます。

大型景気の持続、遠距離通勤の増加等により東海道新幹線の輸送量は、お陰様で大幅な伸びを示しています。東海道新幹線は平成二年三月にダイヤ改正を実施し、ひかり号の増発を行いました。しかし、依然として輸送力がひっ迫している状況であり、引き続き本年三月にもダイヤ改正を行います。

今回のダイヤ改正では、より御利用いただきやすいダイヤを目指してダイヤパターンの見直しを行うこととします。併せて、ひかり号の増発やこだま号の全列車を十六両編成に増結することなどがその主な内容となっております。

また、将来に向けて抜本的に新幹線の拡充強化を図ることとし、新型車両の投入、線路、ターミナル等の増強工事を進め、より便利な新幹線の実現を目指して、なお一層の努力をしてまいります。

本年も楽しい修学旅行をしていただくため安全、安定輸送に努力致す所存でございますので、なお一層の御利用をお願い申しあげますとともに、関係の皆様のますますの御発展を心よりお祈り申しあげます。

## 三都を中心に思い出に残る旅を

### 西日本旅客鉄道株式会社

取締役社長　角田達郎

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係の皆様方には平素から格別の御支援と御協力を賜り厚くお礼申しあげます。

昨年は「国際花と緑の博覧会」が開催され、多数の皆様に御覧をいただきましたが、本年はこのような大きなイベントがありません。

当社としましては、京都・大阪・神戸の各地方自治体並びに観光協会等とタイアップし、着地型観光キャンペーン「三都物語」を大々的に展開しています。

古の都「京都」、近代的な食い道楽の町「大阪」、ロマンチックな港町「神戸」と三者三様の魅力を持った各都市を十分満喫していただけるものと確信しています。

これらの都市のほか、当社の管内には奈良・宮島・秋芳洞・萩等数多くの修学旅行に適した町があり、いずれの箇所でも思い出に残る旅が満喫できます。

当社では鉄道事業のみでなく、旅行業でも今後皆様のお世話をさせていただきたいと考えています。どうか本年もより一層の御愛顧と御支援を賜りますようお願いを致します。

関係の皆様のますますの御健勝と御多幸を祈念し、年頭のごあいさつと致します。

## 旅行の楽しさ!!

高田治郎

新年おめでとうございます。御健勝で全修協運動に御努力のこと心から敬意を表します。

さて、私は旅行が好きで海外へは二十三回、延べ八十一か国、国内はほとんどの所へ旅行しています。旅行の楽しさは人情風俗や歴史風景などです。海外旅行で今も強い印象に残っているのは、ソ連のレングラードの夏宮殿、エジプトで新しく出土したツタンカーメン王の黄金のマスク、ナイロビで草原を疾走する猛獣、ブラジルのカーニバルの大行進やニュージーランドの洞窟内の土ボタルの輝き等々です。

私は、特に教育者の旅行は生徒児童に大きな説得力を持ちますので、出来るだけ研修旅行に参加することをお勧めしたいと思っています。

（財）全修協常務理事・北海道支部長）

## 全修協を現場のものに

鈴木カ

修学旅行が指導要領で正しく位置づけられ、教育現場でも全員参加、生徒自らが計画に参加する自主的旅行等研究や実践に様々な成果を挙げている。併せて全員参加のための行政の助成や旅行の安全対策など、関係諸機関の理解と関心が深まっている等修学旅行それ自体の教育的評価が高いことはうれしい限りである。

この修学旅行の盛上がりは、全修協の運動の成果ともいえるが、教育現場とのパイプが十分といえないのが残念でならない。

今年は様々な工夫をしながら、教育現場との連帯を求め、一体となって修学旅行を盛んにする運動を展開しなければと念願してやまない。

（財）全修協常務理事）

## 年頭のごあいさつ

魚谷時太郎

全国の皆さん、あけましておめでとうございます。

今年は、例年と違って「一」のつく年です。一九九一年です。この一は、「はじめ」ということで出発を意味します。私たち全修協は結成の始め、原点に立帰って新しく出発する年ということにならないでしょうか。

全国の皆さん。一校二校、学校の先生方に全修協の事業をいま一度説明するような初歩から積上げ、理解と納得をいただく運動を始めようではありませんか。

（財）全修協理事・兵庫県支部長）

## 修学旅行を想う

岡木清

修学旅行といえば、私は広島高師時代に経験した萬葉旅行を懐かしく思い出す。

これは教官の指導のもとに、私たち生徒自身が企画立案したものであって、萬葉集に出てくる著名な場所、建築物、植物などを抄出して今まで学んだことを実地に検証しようとするものであった。したがって実行よりも準備と計画に時間が掛かったけれども、それだけにいざ実施に移ったときには極めて楽しい旅行となったことを思い出す。

若い時に、こういう経験をしたことは、後の教育実践も人生経験にも貴重な財産となったものである。

（財）全修協理事）

## 楽しい旅の思い出作り

### 九州旅客鉄道株式会社

取締役社長　石井幸孝

謹んで年頭のごあいさつを申しあげます。

修学旅行関係者の皆様には、平素からJR九州を御支援、御愛顧賜り誠にありがとうございます。

さて、JR九州では、本年も修学旅行の輸送力増強には一層の努力を致しております。新型車両「ハイパーサルーン」や「赤いかもめ・みどり」の投入、アコモの改善など、きめ細かなハイグレードのサービスアップに努めています。

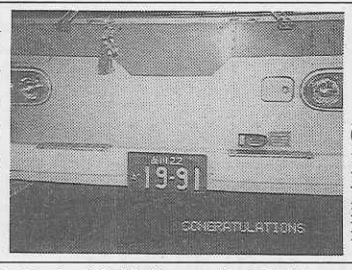
昨年から修学旅行のお客さまを対象にいたしました「団体臨時列車のモデルダイヤ」と「増結モデルパターン」をつくりまして、提案させていただいております。

また、昨年五月には、博多～長崎オランダ村間に超高速船「ビートル」を運航し、更に今春には、博多～釜山間にJRグループとしては初めての国際航路への進出を予定しています。船のイメージを変えた「ビートル」は、列車同様十分に修学旅行のニーズにおこたえできるものと確信しています。

今後も楽しい修学旅行をしていただくために、社員一同努力してまいりますので、皆様の御支援をお願い申しあげます。

## 世界の中の日本人

梅沢茂




世界の中の日本人。ご存じのとおり、このたび改訂された学習指導要領のねらいの三つの柱の一つである。

交通通信の急速な発達によって、諸国間の人や物の交流が便利になり、頻繁に行われるようになった。

経済大国となった我が国民は、世界の中の日本人として活躍できるようになることが、必然的に要求されてきた。そのためには、外国や外国人をよく知っていることが緊要な条件となる。よく知っていることが、人間関係をよくするからである。全修協の研修旅行に海外が加えられた意義はまことに大きい。

（財）全修協理事・栃木県支部長）

## 全修協理事に前田事務局長補選

（財）全国修学旅行研究協会は第七十二回理事会（平成二年十二月十日）で理事一名の補選を行い、前田寛事務局長を選任した。

同氏は国士館専門学校（現国士館大学）地歴学科卒。学徒動員で海軍飛行科操縦士官として従軍、復員後、国士研究の会代表として国士認識の普及運動に従事。昭和四十四年全修協に入り、中央研修部長・副事務局長等を経て、昭和五十二年十一月から事務局長に就任し現在に至る。

## 地理を観る

大田恭次

平成元年が吉田松陰殉難一三〇年、平成二年は松陰生誕一六〇年ということで様々な催しを実施した効果もあって、松陰は再び人々の心によみがえりつつある。

珠玉のような松陰語録の中に「地を離れて人なく、人を離れて事なし。故に人事を論ぜんと欲せば、先づ地理を観よ。」とある。松陰はまず地理を観、そこから、人を観、更に事を見極めようとしたのである。地理を観ることが基礎となる。

旅は単なる物見ではない。人・事を極めるためである。もとより、心のリフレッシュ、元気回復にも効果がある。一万三千㌔を踏破した松陰のエネルギーは旅の中でも蓄えられ、発揮された。旅にはまた、余徳がある。

（財）全修協理事・山口県支部長）

## 年末の大きい収穫

西山文男

年末何気なく本屋の棚をみつめていた時、「わらび座修学旅行」という小冊子が目についた。修学旅行とあるので早速購入して読んでみた。

感銘しつつ読むうち私のかねがねの主張である―修学旅行は日常の学校の教育・経営を反省する絶好の機会である―という域を通り越して、やり方さえ角度づければ児童生徒の人間改造（新しい人間として生まれ変わる）の機会にまで掘り下げ得ることを教えられた。私としては年末の大きい収穫だった。

年頭に当たりこの収穫を私なりにまとめて、みていただきたいと念願している。

（財）全修協監事）

## 自然に感動する

駒井徳左衛門

花は咲いても、忽ち散り、人は生まれても、やがて死ぬ。無常は生あるものの、免れない運命である。

この運命の中で、どう幸せを求めていくのか。

釈迦は説いた。

『生死を超越すれば、そこには浅はかな夢も、迷いもない。そこにほんとうの悟りの境地がある。』と。

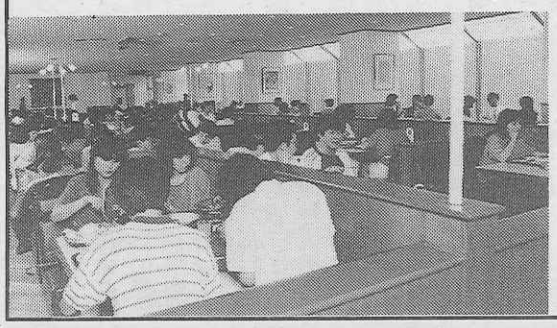
生死の超越とは、生まれて死に、死んでまた生まれる、永遠の生命を信ずることである。自然の営みを知ることである。自然に感動することが、幸せの極みである。

（財）全修協監事・滋賀県支部長）

KANSAI KISEN
大阪・神戸 直行便 別府 さんふらわあ 12,000トン

大阪南港 19.00発 8.20着 ⇄ 神戸中突堤 20.30発 6.50着 ⇄ 別府 8.00着 19.20発
信頼の船旅
関西汽船
営業部営業一課 大阪市北区梅田1-1 ☎(06) 344-7031
東京支社 東京都中央区八重洲1-9-9 ☎(03)3274-4273
及び旅行代理店へ

――修学旅行の楽しいお食事――
箱根 彫刻の森美術館内
レストラン コンポート



◇500名様迄、ご利用いただけます。
◇当レストランは、彫刻の森美術館内の施設ですので、入館を必要とします。
〒250-04
神奈川県足柄下郡箱根町二の平1121
☎0460(2)1141(代表)

# 全国公・私立高等学校

## 平成元年度 修学旅行実態調査の結果

### 「修学旅行総覧―新しい修学旅行―」から

平成元年度実施の全国公・私立高等学校修学旅行の実態調査結果を「修学旅行総覧―新しい修学旅行―」から一部引用紹介する。

左表の調査回答状況にあるが、修学旅行の非実施校や複数実施校、回答未記入校等あり、個々の調査項目の結果は有効回答数により実態を把握する。

修学旅行分類の表から、スキー修学旅行実施の公立高校約23%は、私立高校約8%より一段と多いといえる。

(1)実施学年・参加状況

公・私立高校とも第2学年実施が約90%、参加率は約99%の状況にある。

(2)実施時期・泊数

実施時期は、秋に約53%が集中、春に替って冬に約29%のスキー修学旅行になる。

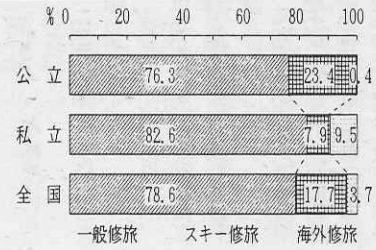
泊数では、三泊四日約28%、四泊五日約46%、五泊六日約21%が中心、六泊以上は減少。

調査回答状況
――校数と(%)

| | 公立 | 私立 | 全国 |
|---|---|---|---|
| 依頼数 | 982 | 626 | 1608 |
| 回答数 | 572 | 318 | 890 |
| 回答率 | (58.2) | (50.8) | (55.3) |

修学旅行分類

| | 公立 | 私立 | 全国 |
|---|---|---|---|
| 一般修学旅行 | 406 (76.3) | 252 (82.6) | 658 (78.6) |
| スキー修学旅行 | 124 (23.4) | 24 ( 7.9) | 148 (17.7) |
| 海外修学旅行 | 2 ( 0.4) | 29 ( 9.5) | 31 ( 3.7) |
| 実施件数計 | 532 (100.) | 305 (100.) | 837 (100.) |

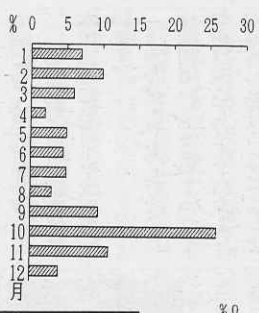



(1)実施学年・参加状況

| | | 公立 | 私立 | 全国 |
|---|---|---|---|---|
| 実施校数 | 1年 | 26( 4.9) | 9( 3.1) | 35( 4.2) |
| | 2年 | 494(92.9) | 255(87.0) | 749(90.8) |
| | 3年 | 12( 2.2) | 29( 9.9) | 41( 5.0) |
| | 計 | 532(100.) | 293(100.) | 825(100.) |
| 在籍人数 | | 195,032 | 116,061 | 311,093 |
| 参加人数 | | 193,611 | 115,151 | 308,762 |
| 参加率 | | (99.3) | (99.2) | (99.3) |

(2)実施時期・泊数
――校数と(%)

| | 公立(%) | 私立(%) | 全国(%) |
|---|---|---|---|
| 1月 | 52( 9.8) | 10( 3.5) | 62( 7.6) |
| 2月 | 72(13.6) | 9( 3.1) | 81( 9.9) |
| 3月 | 19( 3.6) | 37(12.8) | 56( 6.8) |
| 4月 | 5( 0.9) | 10( 3.5) | 15( 1.8) |
| 5月 | 15( 2.8) | 26( 9.0) | 41( 5.0) |
| 6月 | 19( 3.6) | 19( 6.6) | 38( 4.6) |
| 7月 | 29( 5.5) | 14( 4.9) | 43( 5.3) |
| 8月 | 9( 1.7) | 9( 3.1) | 18( 2.2) |
| 9月 | 53(10.0) | 21( 7.3) | 74( 9.1) |
| 10月 | 153(28.9) | 63(21.9) | 216(26.4) |
| 11月 | 86(16.2) | 53(18.4) | 139(17.0) |
| 12月 | 18( 3.4) | 17( 5.9) | 35( 4.3) |
| 計 | 530(100.) | 288(100.) | 818(100.) |




(3)修学旅行費
――校数と(%)

| 修学旅行費(円)以上 | 公立 校数(%) | 私立 校数(%) | 全国 校数(%) |
|---|---|---|---|
| 250,000～ | ・ | 1 | 1 |
| 200,000～ | ・( ・ ) | 2( 1.8) | 2( 0.6) |
| 150,000～ | ・ | 2 | 2 |
| 130,000～ | ・ | 15( 5.4) | 15( 1.9) |
| 110,000～ | 2( 0.4) | 25( 9.0) | 27( 3.4) |
| 105,000～ | ・ | 15( 5.4) | 15( 1.9) |
| 100,000～ | 2( 0.4) | 27( 9.8) | 29( 3.7) |
| 95,000～ | 10( 2.0) | 20( 7.2) | 30( 3.8) |
| 90,000～ | 13( 2.5) | 28(10.1) | 41( 5.2) |
| 85,000～ | 31( 6.1) | 30(10.8) | 61( 7.7) |
| 80,000～ | 36( 7.0) | 33(11.9) | 69( 8.8) |
| 75,000～ | 37( 7.2) | 17( 6.2) | 54( 6.9) |
| 70,000～ | 74(14.5) | 24( 8.7) | 98(12.4) |
| 65,000～ | 91(17.8) | 15( 5.4) | 106(13.4) |
| 60,000～ | 65(12.7) | 8( 2.9) | 73( 9.3) |
| 55,000～ | 63(12.3) | 9( 3.3) | 72( 9.1) |
| 50,000～ | 27( 5.3) | 2( 0.7) | 29( 3.7) |
| 45,000～ | 36( 7.0) | 2( 0.7) | 38( 4.8) |
| 40,000～ | 13( 2.5) | 2( 0.7) | 15( 1.9) |
| 35,000～ | 3 | ・ | 3 |
| 30,000～ | 5( 2.3) | ・( ・ ) | 5( 1.5) |
| ～30,000 | 4 | ・ | 4 |
| 未満　計 | 512(100.) | 277(100.) | 789(100.) |

(4)小遣いの上限額(円)
――校数と(%)

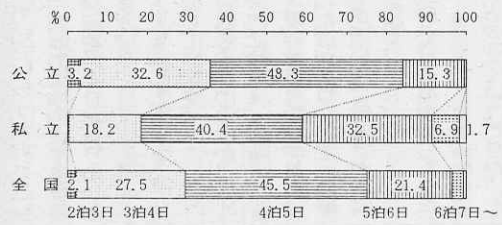
| 小遣い上限額(円) | 公立校数 | 私立校数 | 全国校数(%) |
|---|---|---|---|
| 68,000 | 1 | ・ | 1( 0.2) |
| 60,000 | ・ | ・ | ・( ・ ) |
| 55,000 | ・ | ・ | ・( ・ ) |
| 50,000 | 1 | 2 | 3( 0.5) |
| 45,000 | 2 | ・ | 2( 0.3) |
| 40,000 | 4 | 1 | 5( 0.8) |
| 35,000 | 9 | 5 | 14( 2.4) |
| 30,000 | 58 | 37 | 95(16.2) |
| 25,000 | 26 | 6 | 32( 5.5) |
| 20,000 | 97 | 66 | 163(27.8) |
| 18,000 | 1 | 1 | 2( 0.3) |
| 15,000 | 40 | 40 | 80(13.6) |
| 10,000～ | 2 | 2 | 4( 0.7) |
| 10,000 | 87 | 50 | 137(23.3) |
| 5,000～ | 8 | 3 | 11( 1.9) |
| 5,000 | 26 | 6 | 32( 5.5) |
| ～5,000 | 3 | 3 | 6( 1.0) |
| 計 | 365 | 222 | 587(100.) |

(5)小遣いとおやつ代の規約(略)

以下省略で飛び番号になる。

(6)旅行先方面
地区別入込傾向(%)

| | 公立(%) | 私立(%) | 全国(%) |
|---|---|---|---|
| 1泊2日 | 1( 0.2) | 0( 0 ) | 1( 0.1) |
| 2泊3日 | 16( 3.0) | 0( 0 ) | 16( 2.0) |
| 3泊4日 | 173(32.6) | 53(18.2) | 226(27.5) |
| 4泊5日 | 256(48.3) | 118(40.4) | 374(45.5) |
| 5泊6日 | 81(15.3) | 95(32.5) | 176(21.4) |
| 6泊7日 | 3( 0.6) | 20( 6.9) | 23( 2.8) |
| 7泊8日 | 0( 0 ) | 5( 1.7) | 5( 0.6) |
| 9泊10日 | 0( 0 ) | 1( 0.3) | 1( 0.1) |
| 計 | 530(100.) | 292(100.) | 822(100.) |




平成元年度　全国高校地区別入込傾向(%)

旅行地⇨

| 出発地⇩ 地区 | 校種 | 実数 | 北海道 | 東北 | 関東 | 甲信越 | 北陸東海 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 海外 | 計(%) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 公立 | 51 | ・ | ・ | 88.2 | ・ | ・ | 100.0 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 188.2 |
| | 私立 | 14 | ・ | ・ | 57.1 | ・ | ・ | 100.0 | 35.7 | ・ | ・ | ・ | ・ | 192.9 |
| | 全 | 65 | ・ | ・ | 81.5 | ・ | ・ | 100.0 | 7.7 | ・ | ・ | ・ | ・ | 189.2 |
| 東北 | 公立 | 71 | 2.8 | ・ | 1.4 | ・ | 9.9 | 97.2 | 42.3 | 7.0 | ・ | ・ | ・ | 160.6 |
| | 私立 | 23 | ・ | ・ | 13.0 | ・ | ・ | 65.2 | 13.0 | 13.0 | 26.1 | 21.7 | ・ | 152.2 |
| | 全 | 94 | 2.1 | ・ | 4.3 | ・ | 7.4 | 89.4 | 35.1 | 8.5 | 6.4 | 5.3 | ・ | 158.5 |
| 関東 | 公立 | 158 | 1.9 | 7.6 | 1.9 | 0.6 | 5.1 | 67.7 | 55.7 | 23.4 | 1.9 | 0.6 | ・ | 166.5 |
| | 私立 | 112 | 9.8 | 6.3 | 0.9 | 2.7 | 2.7 | 20.5 | 24.1 | 5.4 | 42.0 | 7.1 | 2.7 | 124.1 |
| | 全 | 270 | 5.2 | 7.0 | 1.5 | 1.5 | 4.1 | 48.1 | 42.6 | 15.9 | 18.5 | 3.3 | 1.1 | 148.9 |
| 中部 | 公立 | 64 | 4.7 | ・ | 6.3 | 31.3 | 9.4 | 9.4 | 26.6 | 7.8 | 17.2 | 3.1 | 1.6 | 117.2 |
| | 私立 | 24 | 12.5 | 4.2 | ・ | 4.2 | ・ | ・ | 12.5 | ・ | 66.7 | 4.2 | 4.2 | 108.3 |
| | 全 | 88 | 6.8 | 1.1 | 4.5 | 23.9 | 6.8 | 6.8 | 22.7 | 5.7 | 30.7 | 3.4 | 2.3 | 114.8 |
| 近畿 | 公立 | 57 | 1.6 | 5.3 | 8.8 | 71.9 | 1.8 | ・ | 1.8 | 1.8 | 10.5 | ・ | ・ | 103.5 |
| | 私立 | 51 | 33.3 | 17.6 | 2.0 | 5.9 | ・ | ・ | ・ | ・ | 11.8 | 25.5 | 9.8 | 105.9 |
| | 全 | 108 | 16.7 | 11.1 | 5.6 | 40.7 | 0.9 | ・ | 0.9 | 0.9 | 11.1 | 12.0 | 4.6 | 104.6 |
| 中国 | 公立 | 42 | ・ | ・ | 40.5 | 47.6 | 23.8 | ・ | 2.4 | 4.8 | 9.5 | 2.4 | ・ | 131.0 |
| | 私立 | 22 | 9.1 | ・ | 31.8 | 27.3 | 22.7 | 9.1 | ・ | ・ | ・ | 9.1 | 4.5 | 113.6 |
| | 全 | 68 | 3.1 | ・ | 37.5 | 40.6 | 23.4 | 3.1 | 1.6 | 3.1 | 6.3 | 4.7 | 1.6 | 125.0 |
| 四国 | 公立 | 21 | ・ | ・ | 71.4 | 57.1 | 9.5 | 4.8 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | 142.9 |
| | 私立 | 8 | 25.0 | ・ | 50.0 | 50.0 | ・ | ・ | 12.5 | ・ | ・ | ・ | ・ | 137.5 |
| | 全 | 29 | 6.9 | ・ | 65.5 | 55.2 | 6.9 | 3.4 | 3.4 | ・ | ・ | ・ | ・ | 141.4 |
| 九州 | 公立 | 64 | 6.3 | ・ | 37.5 | 39.1 | 6.3 | 40.6 | 3.1 | ・ | 1.6 | 4.7 | 3.1 | 142.2 |
| | 私立 | 40 | 17.5 | 2.5 | 40.0 | 12.5 | 10.0 | 42.5 | 2.5 | ・ | ・ | 2.5 | 7.5 | 137.5 |
| | 全 | 104 | 10.6 | 1.0 | 38.5 | 28.8 | 7.7 | 41.3 | 2.9 | ・ | 1.0 | 3.8 | 4.8 | 140.4 |
| 全国 | 公立 | 528 | 2.5 | 2.8 | 21.6 | 22.5 | 7.2 | 49.2 | 26.3 | 9.5 | 4.7 | 1.3 | 0.6 | 148.3 |
| | 私立 | 294 | 4.3 | 6.1 | 13.6 | 7.5 | 4.1 | 24.1 | 13.6 | 3.1 | 25.5 | 10.2 | 4.4 | 126.5 |
| | 全 | 822 | 6.7 | 4.0 | 18.7 | 17.2 | 6.1 | 40.3 | 21.8 | 7.2 | 12.2 | 4.5 | 1.9 | 140.5 |

(3)修学旅行費

修学旅行費の公立では、五万五千円以上から七万円以上の区間が多く約57%、六万五千円以上約18%が最多、私立では、八万円以上から九万円以上の区間が多く約33%、八万円以上約12%が最多、十万円以上の区間で約31%、広がりが認められる。

(4)小遣いの上限額(円)

小遣いの上限額は公・私立が同様、一万円、二万円を併せて約半数の51%、更に三万円約16%の三段階になる。

(6)旅行先方面
地区別入込傾向(%)

上表から、自地区への入込傾向0%の地区が、北海道、東北、近畿、四国の四地区もあり、拡散化の傾向にある。

北海道地区は近畿100%、関東約82%の入込傾向。東北地区は近畿約89%、中国約35%、近畿地区は甲信越約41%、北海道約17%、四国地区は関東約66%、甲信越約55%の入込傾向が強く、スキー修学旅行による入込傾向の影響が認められる。

全国的には、近畿約40%、中国約22%、関東約19%、甲信越約17%、九州沖縄約17%への入込傾向が比較的強く、各地区への入込傾向が増加し拡散傾向にある。

(11)自主見学・自由行動
実施地の状況

第一・二回を通して、実施校数は変わるが、京都・東京・長崎・奈良の四順位は全く同じで、各回とも約59%を含み、中心的実施地といえる。

第三回まで通してのベストテンの中で、京都約42%、東京約17%、長崎約11%、奈良約7%、続いて萩、札幌、倉敷、平戸、神戸、津和野の順。

(12)同　所要時間の状況

左表計の実施総数で、公・私立校とも同様傾向、一回実施約65%、二回実施約30%で半減、三回実施は約5%のみ。

(13)同　実施形態の状況

公・私立校とも、回を追って実施校数は減少するが、実施率では同様な傾向にあり、グループ別実施が約81～76%で逓減傾向、クラス別実施が約13～17%で漸増傾向にある。

(7)宿泊地の状況
――主要宿泊地と校数

| 1泊目宿泊地 | 公立 | 私立 | 全国 | (%) |
|---|---|---|---|---|
| 1・車中泊 | 50 | 27 | 77 | ( 9.6) |
| 2 奈良 | 49 | 13 | 62 | ( 7.7) |
| 3・船中泊 | 27 | 27 | 54 | ( 6.7) |
| 4 広島 | 46 | 6 | 52 | ( 6.5) |
| 5 京都 | 37 | 12 | 49 | ( 6.1) |
| 6 志賀 | 33 | 6 | 39 | ( 4.9) |
| 7 宮島 | 23 | 6 | 29 | ( 3.6) |
| 8・コース別 | 9 | 16 | 25 | ( 3.1) |
| 9 萩 | 11 | 8 | 19 | ( 2.4) |
| 10 東京 | 13 | 5 | 18 | ( 2.2) |

| 2泊目宿泊地 | 公立 | 私立 | 全国 | (%) |
|---|---|---|---|---|
| 1 京都 | 144 | 29 | 173 | (22.2) |
| 2 奈良 | 34 | 16 | 50 | ( 6.4) |
| 3 志賀 | 37 | 8 | 45 | ( 5.8) |
| 4 東京 | 26 | 7 | 33 | ( 4.2) |
| 5 長崎 | 11 | 18 | 29 | ( 3.7) |
| 6 那覇 | 5 | 12 | 17 | ( 2.2) |
| 7 萩 | 11 | 5 | 16 | ( 2.0) |
| 8 白樺湖 | 12 | 3 | 15 | ( 1.9) |
| 9 雲仙 | 3 | 12 | 15 | ( 1.9) |
| 10 広島 | 7 | 3 | 10 | ( 1.3) |

| 宿泊地 | 延校数 | (%) |
|---|---|---|
| 1 京都 | 693 | (38.5) |
| ・車中泊 | 194 | (10.8) |
| 2 東京 | 172 | ( 9.6) |
| 3 志賀 | 145 | ( 8.1) |
| ・船中泊 | 126 | ( 7.0) |
| 4 奈良 | 123 | ( 6.8) |
| 5 長崎 | 97 | ( 5.4) |
| 6 広島 | 62 | ( 3.4) |
| 7 萩 | 58 | ( 3.2) |
| 8 那覇 | 46 | ( 2.6) |
| 9 白樺湖 | 41 | ( 2.3) |
| 10 阿蘇 | 41 | ( 2.3) |
| 計 | 1,798 | (100.) |

(7)宿泊地の状況

一泊・二泊目の宿泊地ベストテンのみで、三泊目以上省略、左表の全宿泊を通してのベストテンでは、京都宿泊が首位約39%、東京約10%、奈良約7%が上位、志賀約8%はスキー修学旅行の受地。

(11)自主見学・自由行動
実施地の状況

| 第1回 | | 公立 | 私立 | 全国 | (%) |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 京都 | 149 | 39 | 188 | (33.7) |
| 2 | 東京 | 45 | 14 | 59 | (10.6) |
| 3 | 長崎 | 15 | 35 | 50 | ( 9.0) |
| 4 | 奈良 | 24 | 6 | 30 | ( 5.4) |
| 5 | 萩 | 16 | 12 | 28 | ( 5.0) |
| 6 | 札幌 | 2 | 22 | 24 | ( 4.3) |
| 7 | 倉敷 | 13 | 2 | 15 | ( 2.7) |
| 8 | 那覇 | 5 | 7 | 12 | ( 2.1) |
| 9 | 平戸 | 1 | 9 | 10 | ( 1.8) |
| 10 | 広島 | 8 | 1 | 9 | ( 1.6) |

| 第2回 | | 公立 | 私立 | 全国 | (%) |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 京都 | 53 | 15 | 68 | (26.7) |
| 2 | 東京 | 39 | 10 | 49 | (19.2) |
| 3 | 長崎 | 4 | 13 | 17 | ( 6.7) |
| 4 | 奈良 | 12 | 4 | 16 | ( 6.3) |
| 5 | 札幌 | 4 | 8 | 12 | ( 4.7) |
| 6 | 倉敷 | 8 | 3 | 11 | ( 4.3) |
| 7 | 萩 | 6 | 4 | 10 | ( 3.9) |
| 8 | 神戸 | 8 | 1 | 9 | ( 3.5) |
| 9 | 津和野 | 3 | 5 | 8 | ( 3.1) |
| 10 | 平戸 | 0 | 8 | 8 | ( 3.1) |

(12)自主見学・自由行動
所要時間の状況

| 所要時間 | 第1回 公立 | 第1回 私立 | 第1回 全国 | 第2回 公立 | 第2回 私立 | 第2回 全国 | 第3回 公立 | 第3回 私立 | 第3回 全国 | 全回数分 公立 | 全回数分 私立 | 全回数分 全国 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1～2 | 39 | 49 | 88 | 12 | 15 | 27 | 4 | 2 | 6 | 55 | 66 | 121 |
| 3～5 | 85 | 65 | 150 | 46 | 29 | 75 | 3 | 3 | 6 | 134 | 97 | 231 |
| 6～8 | 140 | 53 | 193 | 77 | 24 | 101 | 14 | 5 | 19 | 231 | 82 | 313 |
| 9～10 | 38 | 12 | 50 | 13 | 5 | 18 | 5 | 0 | 5 | 56 | 17 | 73 |
| 11～ | 38 | 11 | 49 | 17 | 5 | 22 | 1 | 1 | 2 | 56 | 17 | 73 |
| 計 | 340 | 190 | 530 | 165 | 78 | 243 | 27 | 11 | 38 | 532 | 279 | 811 |

(13)自主見学・自由行動
実施形態の状況

| 実施形態 複数選択 | 第1回 公立 | 第1回 私立 | 第1回 全国 | 第2回 公立 | 第2回 私立 | 第2回 全国 | 第3回 公立 | 第3回 私立 | 第3回 全国 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| クラス別(%) | 62 (15.9) | 18 ( 8.5) | 80 (13.3) | 38 (21.0) | 6 ( 7.0) | 44 (16.5) | 5 (17.2) | 2 (16.7) | 7 (17.1) |
| グループ別(%) | 306 (78.3) | 181 (85.8) | 487 (80.9) | 134 (74.0) | 79 (92.0) | 213 (79.8) | 21 (72.4) | 10 (83.3) | 31 (75.6) |
| 個人別(%) | 13 ( 3.3) | 7 ( 3.3) | 20 ( 3.3) | 1 ( 0.6) | 1 ( 1.0) | 2 ( 0.7) | ・ | ・ | ・ |
| バスコース別(%) | 10 ( 2.5) | 5 ( 2.4) | 15 ( 2.5) | 8 ( 4.4) | ・ | 8 ( 3.0) | 3 (10.4) | ・ | 3 ( 7.3) |
| 計(%) | 391 (100.) | 211 (100.) | 602 (100.) | 181 (100.) | 56 (100.) | 267 (100.) | 29 (100.) | 12 (100.) | 41 (100.) |

# 修学旅行総覧を発刊

## (財)全国修学旅行研究協会

(財)全国修学旅行研究協会は創立三十五周年記念事業の一環として、「修学旅行総覧」を刊行致しました。

我が国独特の教育活動である修学旅行百余年の歴史を振り返り、当協会独自の調査による最新の統計資料に基づいて、修学旅行の現状と将来を展望し、修学旅行の全容を解析しようとするもので、関係各位の参考資料になるものと考えます。

1 書名　修学旅行総覧―新しい修学旅行―
2 規格　B5判本文270ページ
3 発行　平成二年十一月
4 定価　三千円(消費税込み)　送料三百六十円
5 申込み　(財)全国修学旅行研究協会〒101東京都千代田区西神田二―八―七☎03・3262・2932ファクシミリ03・3262・3931

「修学旅行総覧」
内容の概要

写真特集　(1)ふるさと点描(カラー)　(2)修学旅行の歴史
序論
(1)「修学旅行総覧」の発刊に当たり
(2)修学旅行の改善向上と全修協の活動
特別寄稿　修学旅行について
提言特集　修学旅行の将来展望
第一章　修学旅行の変遷と意義
第一節　戦前の修学旅行の発祥と意義
⊙戦前の修学旅行の年表
第二節　戦後の修学旅行の確立と意義
⊙戦後の修学旅行の年表
第二章　修学旅行の理論と研究
第一節　修学旅行の理論と研修
⊙平成二年度修学旅行実施基準の概要
第二節　修学旅行の研究と実践
第三章　修学旅行の実際と資料
第一節　修学旅行の実際(手引き)
⊙修学旅行のモデルコース
第二節　野外学習・野外活動の実際(手引き)
第三節　修学旅行の関連資料
第四章　修学旅行の実態と展望
第一節　修学旅行の実態と動向
1 実態調査による修学旅行の実態と改善
2 教育展望と修学旅行の動向・展望
3 各県・市の修学旅行の受地情報
⊙都道府県別修学旅行対象生徒数の推計(平成2年度～9・10年間)
第二節　修学旅行への協力体制